

新しい学校づくりのこれまでの取組

「子どもたちにとって、どのような教育環境が望ましいのか」それを考えることから、牧之原市の新しい学校づくりについての検討はスタートし、地域・保護者・学校関係者の意見を聞きながら、平成29年度から現在まで約10年をかけて具体化してきました。

子どもたちがこれからの社会を自分らしく生きることができるよう、

「**次代を切り拓く力**」を育むことを目指して、市立小中学校10校を再編し、榛原地域と相良地域にそれぞれ1校、計2校の義務教育学校をつくることとしました。

これまでの流れと義務教育学校で目指す教育

平成29年度～ 望ましい教育環境のあり方に関する方針

望ましい教育環境について検討、「次代を切り拓く力」を育むことを目標に、学校再編計画を検討。

令和元年度～ 学校再編計画（素案）の検討

望ましい教育環境のあり方に関する方針を受けて、学校再編の基本的な考え方をまとめる。

令和3年度 新しい学校づくり計画を策定

学校再編計画素案を基に市民意見を反映し、新しい学校の教育や学校生活なども含めた計画として策定。

令和4～5年度 施設整備基本構想・基本計画を策定

教育と施設の方針・地域ごとのコンセプト・学校敷地など、学校施設整備の基本的な考えを示すものとして策定。

令和6年度～ 設計と開校準備を推進

榛原地域の設計を進め、令和8年度から校名など開校に必要な事項を検討。

9年間がつながる義務教育学校

1人の校長と一つの教職員集団が、同じ教育方針で9年間を一貫して支える学校

目指す学校像「みんなの学校」

子どもたちが学校を楽しんでいると思えて、みんなで子どもを育てる「共育(きょういく)」を実現

育みたい力：次代を切り拓く力

次代を切り拓く力 = 「人間力」

主体性・社会性・気付き力・コミュニケーション力など

次代を切り拓く力を育むキャリア教育

キャリア教育を軸とした小中一貫教育と
コミュニティ・スクールを通して力を育む

教育活動の土台・基礎となる「安全・安心」

災害に強い場所と建物・適正管理できる規模と質
安心できる通学路と通学手段

新しくつくる2つの義務教育学校と施設のコンセプト

榛原義務教育学校

対 象 校：川崎小学校、細江小学校、勝間田小学校
坂部小学校、榛原中学校
規 模：1学年3～5クラス
場 所：榛原中学校及び周辺
開 校 時 期：令和12年度目標
コンセプト：地域と共にわくわく学び・体験できる
みんなの学校



相良義務教育学校

対 象 校：相良小学校、菅山小学校、萩間小学校、
地頭方小学校、相良中学校
規 模：1学年2～3クラス
場 所：国道473号バイパス大沢IC北側
開 校 時 期：令和15年度目標
コンセプト：夢につながる みんなの学校

